

# 化粧品主要国成分規制と 輸出入の留意点及び広告規制対応

1名分料金で  
2人目無料

【LIVE配信】  
【アーカイブ配信】

セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/251242>

- ◆日時: 2025年12月9日(火) 12:30~16:30  
【アーカイブ配信: 12/10~12/18(何度でも受講可能)】
  - ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
  - ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。  
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**  
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

## セミナーお申込みFAX

### 03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 合同会社和陽アドバイザー／サニー行政書士事務所 代表 辰巳 和子 氏

<p><b>1. 日本における化粧品規制</b></p> <p>1.1 日本の化粧品・医薬部外品規制 1.2 ポジティブリスト・ネガティブリスト      1.3 INCI名と化粧品表示名称</p> <p><b>2. 主要輸出相手国の原料成分規制の特徴と日本との比較</b></p> <p>2.1 中国                  - 中国の原料成分規制の特徴                  ・化粧品監督管理条例のポイント、輸出する際の許可・登録の流れ                  ・成分規制の特徴 成分チェックの仕方                  ・原料登録のポイント、手続き、必要資料      ・最近の動向                  - 日本との共通点・相違点</p> <p>2.2 台湾                  - 台湾の原料成分規制の特徴                  ・化粧品衛生安全法のポイント      ・成分規制体系の特徴                  ・PIFの必要資料                  - 日本との共通点・相違点</p> <p>2.3 EU                  - EUの原料成分規制の特徴                  ・EU Cosmetic Regulation 1223/ 2009)の特徴      ・直近の規制の動き                  - 日本との共通点・相違点</p> <p>2.4 ASEAN                  - ASEANの原料成分規制の特徴                  ・ASEAN化粧品規制の特徴      ・各国独自規制のトピックス 直近の規制の動き                  - 日本との共通点・相違点</p> <p>2.5 米国                  - 米国の原料成分規制の特徴                  ・MoCRAの概略、特徴、いままでとの変更ポイント      ・成分規制の特徴                  - 日本との共通点・相違点</p>	<p><b>3. 各国での最新情報</b></p> <p>3.1 EUにおける最新成分動向                  ~ 色素・防腐剤・紫外線吸収剤を中心に~                  (PFAS、動物実験、ナノ物質など、内容は講義直前に決定)                  3.2 最新情報入手のしかた ~ 各国における情報入手ソース ~</p> <p><b>4. 輸入化粧品の品質管理</b></p> <p>4.1 輸入品質管理責任者が行うことの手順とポイント                  4.2 国毎に見る主な注意ポイント      4.3 アイテム種別毎にみる主な注意ポイント                  4.4 実際にどのようなことを行うか      4.5 輸入化粧品の表示のポイント</p> <p><b>5. 輸入化粧品におけるリスクマネジメント</b></p> <p>5.1 近年における収去検査などからの検出事例、違反事例                  5.2 近年の回収事例—どこが落とし穴だったか—                  5.3 回収事例から学ぶ自社でのチェックポイント                  - 品質管理担当者が注意すること      - 外部試験を行うときの注意点、ポイント</p> <p><b>6. 広告規制</b></p> <p>6.1 日本の化粧品広告規制について                  - 化粧品の広告にからむ法律(薬機法、景表法、特商法、健増法、医療法等)                  - 薬機法における広告の3要件      - 業界基準</p> <p>6.2 表現できること、できないこと(OK表現、NG表現)                  - 化粧品と医薬部外品の効能効果、表現の違い                  - よくある化粧品で言いたい効能効果のNG表現と言い換え例                  - アフィリエイト、ステマについて</p> <p>6.3 最近の行政動向と摘発・課徴金事例                  - 化粧品の指導の事例 指摘されたワードの事例                  - 指導の例(どんな形で指導がくるか)とその対処 - 広告における根拠の使い方</p> <p>6.4 海外の広告規制                  - EU、ASEAN、中国、台湾の広告規制のポイント(日本との比較)                  - 実際の取り締まり事例</p>
--	---

**【LIVE配信セミナーとは?】**

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『化粧品成分規制【WEBセミナー】』セミナー申込書※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒  LIVE  アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 <input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

● **セミナーの受講申込みについて** ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡いたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

